

10/3

町の美化に尽力 高橋建設感謝状贈呈

洞 爺地区で草刈りのボランティアを行った高橋建設（高橋哲也社長）に、町が感謝状を贈呈しました。

同社は、大原調整池の法面など約4500平方メートルの草刈りを無償で行いました。2008年から地域貢献の一環として例年実施しています。

下道町長は「心温まる支援でありがとうございます」と感謝し、高橋社長は「少しでも地元の負担軽減につながるよう今後も続けたいです」と話していました。



下道町長から感謝状を受け取った高橋社長(右)

10/3

予期せぬ災害に備えて 虻高一日防災教室

虻 田高校（千葉佳貴校長）の一日防災学校が行われました。生徒が、段ボールで作られたベッドやパーテーションの組み立てを行い、避難所設営のノウハウを学びました。

まずは段ボールベッドの設置から取り掛かり、班ごとに協力して組み立てました。パーテーションでベッドを囲んで完成すると、生徒が寝心地を確かめ、実際の避難の際はプライバシーの確保も重要になることなどに理解を深めました。



段ボールベッドを組み立てる生徒

10/19

心象風景を表現 石井千晶銅版画展開催

銅 版画家石井千晶さんの特別展「風の記憶」が10月19日～11月30日の間、洞爺湖芸術館で開催されました。

芸術館での特別展は1年ぶりであり、オープニングセレモニーでは、作家の石井さんや来賓からのあいさつの後、テープカットが行われました。

また、展示場所には多くの来場者が訪れ、石井さんがそれぞれの作品に込めた思いなどを語りながら、作品を鑑賞しました。



銅版画を鑑賞する来場者

10/6

脳卒中を予防するために くじらん健康教室開催

市 立室蘭総合病院（高橋典之病院長）の市民公開講座「くじらん健康教室」が役場防災研修ホールで開催されました。脳卒中をテーマに、医師や看護師が治療、予防などについてわかりやすく説明しました。

脳卒中は、脳の血管が詰まる、破れるなどで脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などを起こす病気で、迅速な対応が必要だと説明。その上で少しでも異常を感じたら、すぐに救急車と呼んでほしいと訴えました。



脳卒中の治療について説明を聞く参加者

10/24

防災の大切さを再確認 温小防災教室・慰霊の日

洞 爺湖温泉小学校（柴田暦章校長）が、有珠山噴火の災害で命を失った児童を悼み、防災減災の大切さを学ぶ「防災教室・慰霊の日」を行いました。高、中、低学年の3グループに分かれて火山マイスターから噴火当時の話を聞きながら、西山山麓火口散策路を巡回しました。地震で階段状になった旧国道や、噴石などで破壊された工場、とうや幼稚園などを見学し、日頃の噴火への供えの大切さを学びました。



噴石で破壊されたとうや幼稚園を見学する児童

10/23

消防団員を務めて60年以上 寺島勉団長が道消協栄光章

蛇 田町消防団、洞爺湖消防団で61年間に渡って活動した寺島勉さんが、北海道消防協会栄光章を受章しました。寺島さんは1962年7月に蛇田町消防団に入団。2007年10月に洞爺湖消防団団長に就任するなど長年の間、消火・救助や防火指導に尽力しました。下道町長に受章を報告した寺島さんは「友和と団結を考えてやってきました。受章はみんなの支えがあればこそです」と感謝していました。



受章した寺島さん（中）と下道町長（左）、西胆振行政事務組合伊達消防署洞爺湖支署の結城支署長

10/15~

日頃の成果をお披露目 蛇田、洞爺地区で文化祭開催



洞爺湖町総合文化祭の展示物



ダンスなどが披露された洞爺湖町民文化祭の芸能部門の発表会

文 化の日に合わせて、洞爺湖町総合文化祭（洞爺湖町文化団体協議会主催）、洞爺湖町民文化祭（とうや文化協会主催）が行われました。洞爺湖町総合文化祭は初日の10月15日、洞爺湖文化センターでステージ部門の発表が行われ、約40人が歌謡曲や演歌、日本舞踏を披露。28、29日には、あぶた体育館で展示部門の発表があり、野菜や果物の種でつくられた絵や生けいしました。洞爺湖町民文化祭は、11月3～5日に展示部門が行われ、絵画や写真、生け花などのかわりの一作が並びました。また、手作りのそばも振舞われました。23日には芸能部門の発表会を開催。ダンスや演歌、バンド演奏などが披露され、来場者を盛り上げていきました。